

	第121回 発電用設備規格委員会 原子力専門委員会 議事録
1.	日 時：2024年9月12日（木）10:00～17:00 9月13日（金）09:30～12:10
2.	場 所：日本機械学会 第1・2会議室 WEB会議：WebEx（ミーティング番号：9/12：2514 014 8048、9/13：2518 503 7286） 電話会議：会議ID：9/12：2514 014 8048、9/13：2518 503 7286、電話番号：+81-34-578-4002
3.	出席者：委員22名（委員代理含む）、敬称略
	【委員】 高屋委員長（JAEA）、中島副委員長（MHI）、山田幹事（中部）、稲田（東電HD）、永田（日立GE）、野村（CSE）、望月（大阪大）、佐藤（発電技検）、三浦（電中研）、定廣（富士電機）、今井（東電HD）、荒川（テプシス）、清水（IHI）、佐藤（JANSI）、小林（EPRI）中山（JEA）、美原（鹿島）、デフランコ（JGC）、町田（原電）、佐々木（川重）、桑水流（福井大）、篠山（東芝ESS）
	【委員代理】
	【欠席】 柳沢（JSW）、古屋（電機大）
	【常時参加者】
	【オブザーバ】 朝田、大林、小口、佐藤、北条、野村（MHI）、朝倉、清水、平野（日立GE）、渋楸（IHI）、阿部、板谷、寺田、藤田、森（東芝ESS）、大厩（関電）、森田（電中研）、中村（都市大）、中村（阪大）、鬼澤、奥田（JAEA）、志田、高木（東電HD）、釜谷（INSS）、菊地（原電）、高坂（原燃）、
	【事務局】
4.	配布資料
	添付 配布資料一覧参照
5.	議事内容（定例）
(1)	開 会
	高屋委員長より委員会開会の宣言が行われた。 出席者を点呼し、定足数（委員総数24名の2/3以上）を満足することを確認した。 資料121-0により議事次第案の確認が行われ、委員全員の賛成により承認された。
(2)	前回議事録案の確認【資料121-1】
	事務局から資料121-1-1により前々回第119回議事録案並びに資料121-1-2により前回臨時開催された第120回議事録案の主な内容が紹介され承認された。
(3)	投票結果報告【資料121-2】
	事務局から書面投票、メール審議結果について報告された。
(4)	質問受付、公衆審査結果【資料121-3】
	事務局から資料121-3-1により、質問受け付け対応状況について報告された。 事務局から資料121-3-2により、下記公衆審査結果について意見無く終了したことが報告された。 意見受付公告番号200 日本機械学会 発電用原子力設備規格 設計・建設規格（2024年版案）及び事例規格集案＜第I編 軽水炉規格＞（2024年 改定0） 自）2024/08/01 至）2024/09/02
(5)	規格委員会報告【資料121-4】
	事務局から資料121-4により、第110回発電用設備規格委員会議事録案の概要が紹介された。
(6)	原子力専門委員会委員／分科会委員の承認【資料121-5】

	事務局から資料 121-5 により、原子力専門委員会委員の退任、新任の委員候補が紹介された。また下記により各分科会委員の退任、新任、役員交代が報告され承認された。
	1. 原子力専門委員会 [退任] 北村 嘉英(関電 24/7) [新任] 丹羽 悠介(関電) 2. 分科会関係 ➤ 設計・建設分科会 [新任] 鈴木 峻介(中部) 中村 いずみ(都市大) ➤ 材料分科会 [退任] 北村 嘉英(関電 2024/7/1) [新任] 丹羽 悠介(関電) ➤ 維持規格分科会 [退任] 北村 嘉英(関電 2024/7/1) [新任] 丹羽 悠介(関電) ➤ 溶接分科会 [退任] 佐野 真隆(関電 24/9/12) [新任] 福井 妙佐(関電) ➤ 再処理設備格分科会 [主査交代] 小出 康生⇒山本 暁男 [退任] 林 晋一郎(JAEA24/6/30)、小出 康生(MHI24/8/30) [新任] 佐本 寛孝(JAEA)、山本 暁男(MHI) ➤ 配管減肉分科会 [退任] 佐野 真隆(関電 24/9/12)、浦邊 守(原電 24/7/25) [新任] 福井 妙佐(関電)、中川 健(原電) ➤ 疲労評価分科会 [退任] 北村 嘉英(関電 24/7/1) [新任] 大厩 徹(関電) ➤ 過酷事故対応分科会 [退任] 北村 嘉英(関電 24/7/1) [新任] 丹羽 悠介(関電) ➤ 竜巻影響評価分科会 [幹事交代] 萩原 律⇒寺田 慎吾 [退任] 沼田 健(関電 24/6/30)、赤瀬 竜也(東電 HD24/6/30)、岩本 慎哉(原電 24/7/8) [新任] 八田 尚之(関電)、寺山 武志(東電 HD)、藤野 拓史(原電)
6.	議事内容（原子力専門委員会運営に関する審議）
(1)	「発電用設備規格の事例規格の出版に関する特別規定(内規)の改定案の承認」原専メール審議意見対応（原案策定内規改定提案を含む）【資料 121-6-1】（説明者：高屋委員長）
	高屋委員長より、資料 121-6-1 を用いて原専メール審議 No.149「規格委員会投票 No.622「発電用設備規格の事例規格の出版に関する特別規定（内規）の改定案」意見回答及び意見回答に伴う修正案の承認」に伴う意見対応について説明が為され、承認された。併せて「発電用設備規格の原案策定に関する内規」に記載された内規の名称を修正する反映について説明が為され、規格委に提案することが承認された。
(2)	「原子力専門委員会 推奨表記集の改定の承認」規格委メール審議意見対応【資料 121-6-2】（説明者：高屋委員長）
	高屋委員長より、資料 121-6-2 を用いて規格委メール審議 No.91「規格委員会投票 No.603「原子力

	専門委員会 推奨表記集の改定」意見回答及び意見回答に伴う修正案の承認」に関する意見（反対意見）対応として、「割れ」「亀裂」「きず」及び「欠陥」の修正は今回提案から取り下げることとすることが説明され、承認された。
(3)	2022～4 年度 NRA 技術評価の対応状況について【資料 121-6-3】（説明者：高屋委員長） 高屋委員長より、資料 121-6-3-1～4 を用いて、NRA 技術評価への対応状況として 6/10 開催の第 6 回検討チーム会合により公開会合が終了し、これに伴う検討チーム会合での主なご意見と JSME からの回答・対応状況について報告された。 資料 121-6-3-2 において NRA 指摘事項の対応として、原専委書面投票の際に「規格全体を俯瞰し改定提案が規格の他の箇所に影響しないことをチェックする」観点で原専委員長が 2 名の委員を指名し、改定提案を確認することが提案された。設計・建設分科会朝田主査より、設計・建設規格などの大部の規格におけるチェックはかなり作業量となる事が指摘され、対応者は必要に応じて投票期間中に担当分科会と個別に意見交換等を行いながら進めていく等のフォローを分科会に依頼することが確認された。 資料 161-6-3-3 において NRA から解説に要求事項が記載されている旨の指摘の対応として、先行して実施した溶接規格、CCV 規格及び配管減肉規格における確認結果を踏まえ、見直しルール（例題の掲載等を含む）を原専三役にて検討し分科会にて対応を依頼する方針が紹介された。 資料 161-6-3-4 において規格制改定に際してエビデンスの充足性確認、技術評価に際して NRA と見解が相違する場合の対応についてそれぞれ方針が確認された。
(4)	原専本会議の時間割に沿った進行について【資料 121-6-4】（説明者：高屋委員長） 高屋委員長より資料 121-6-4 を用いて、原専委本会議における審議時間超過の抑制に向けた対応方針について説明が為された。
(5)	再処理設備分科会の運営について【資料 121-6-5】（説明者：再処理分科会高坂幹事） 分科会高坂幹事より、資料 121-6-5 を用いて再処理設備規格（設計・溶接・維持）の 2018 年改定版発行後、規制動向並びに民間の環境変化に伴い再処理設備規格制改定活動の当面の休止と分科会の活動休止について説明が為され、原専委として確認された。
7.	議事内容（原子力発電設備規格に関する報告）
(1)	2025 年度原子力専門委員会・分科会活動計画の策定について（説明者：山田幹事） 山田幹事より原専活動計画、ロードマップ、新知見検討票の作成方針について説明が為された。共通課題検討会にて 9 月末を目処にフォーマットを検討中であり、次回原専委に向けて各分科会・タスクに依頼を行う。
8.	議事内容（原子力発電設備規格に関する審議）
(1)	設計・建設分科会【資料 121-07】 朝田分科会主査から資料 121-7-1 により、設計・建設規格 2022 年版出版用原稿チェック時他で見付かった正誤表について説明があり、原専委での 30 日間の書面投票の実施、書面投票での可決を条件とした規格委への提案について、承認された。 資料 121-7-2-1 により、QNC2012-14/QNC2005-177 の JIS B 2312 他管継手年版読替の質疑応答について、原専委でのメール審議で原専でのメール審議の結果、反対はなく、両案件とも 1 件の保留意見が出された。意見対応を行い、了解され、承認された。 資料 121-7-2-2 により、QNC2007-01 の鍛造品の扱いの質疑応答について説明があり、承認された。 資料 121-7-3 により、2024 年版改定案(その 2) 規格委員会書面投票 No.621 で実施された DC23-25 解説 PVB-3111 一次応力評価での解析モデルの板厚の取り扱いについて、書面投票の結果、反対はな

	く、保留 2 票、参考意見 2 票が出された。高橋委員以外の意見は回答し、了解が得られた。高橋委員の意見対応は準備中であり、追って回答する。規格委員会でも状況を報告する。なお、本件は 2026 年版改定案として進める。 資料 121-7-4-1, 2 で溶接規格 2024 年版(その 5)、(その 6)の設計・建設規格への影響評価を確認し、影響はないことを確認した。
(2)	材料分科会【資料 121-08】 1) 質疑応答：次の 2 件が審議了承された。 ① 資料 121-8-1-1 (24NM-007) QNC2005-186 : JIS G 3463 「ボイラ・熱交換器用ステンレス鋼鋼管」他の年版読替について ② 資料 121-8-1-2 (24NM-008) QNJ2012-35 : JIS G 3463 「ボイラ・熱交換器用ステンレス鋼鋼管」他の年版読替について 2) 規格委書面投票意見対応：次の 1 件について 7 日間の原専メール審議 (No.159) を行うこととなった。(可決を条件に規格委に提案することが了承された。) ① 規格委 LB No.644 : 23NM-005 (資料 121-8-2-1/121-8-2-2) 材料規格 2022 年版に対する改定提案 (その 3) 「記載の適正化 (推奨表記集の反映他)」改定提案 3) 原専への書面投票提案：次の 1 件について 15 日間の書面投票 (No.769) 実施が了承された。(可決を条件に規格委に提案することが了承された。ただし、提案書の改正された JIS の一覧表から No.15 「JIS Z 2241 (金属材料引張試験方法)」を削除する。) ① 23NM-002 (資料 121-8-3-1/121-8-3-2) 材料規格 2022 年版に対する改定提案 (その 4) /JIS の 2023 年改正対応 材料規格 2024 年版について 11 月の 1 ヶ月間、公衆審査を行うことを規格委に提案する。
(3)	維持規格分科会【資料 121-09】 検査作業会高木主査から資料 121-9-1 により、「耐震クラス記載の見直し」に関する規格委書面投票の意見対応と提案の修正案について説明され、規格委員会に提案することが承認された。 評価作業会北条主査及び MHI 佐藤氏から資料 121-9-2 により、「事例規格・オーステナイト系ステンレス鋼の PWR1 次系水質環境中の SCC 亀裂進展速度」に関する規格委書面投票の意見対応と提案の修正案について説明され、1 週間の原専メール審議を実施の上、規格委員会に提案することが承認された。 維持規格分科会野村主査から資料 121-9-3 により、「PWR の SCC 懸念部位の検査」に関する原専委書面投票の意見対応について説明され承認された。規格委員会に提案することが承認された。 高木主査から資料 121-9-4 により、「検査章解説の様式の見直し」について説明され、1 ヶ月の原専書面投票を実施することが承認された。 北条主査から資料 121-9-5 により、「電気協会・破壊靱性検討会からの質疑応答対応 (フェライト鋼の疲労亀裂進展速度に及ぼす照射の影響) 解説第一部 (評価) 欠陥などの用語の見直し」に関する質疑応答案について説明され、1 週間の原専メール審議を実施することが承認された。
(4)	溶接分科会【資料 121-10】 藤田幹事から、資料 121-10-2-1~4 により、事例規格「デジタル検出器を用いた放射線透過試験方法」の制定 (案) について、原専メール審議 No. 152 と意見回答の結果報告及び規格委員会メール審議 No. 92 結果報告がなされた。修正案については、再度原子力専門委員会にて 7 日間のメール審議を実施することとなった。投票 No.162。 資料 121-10-1 により、「溶接規格 2024 年版改定案 (その 3) 「レーザビーム溶接施工法確認試験の確認項目」の見直し」について、規格委書面 No.625 の意見対応結果が報告された。 小口委員から、資料 121-10-3-1~4 により、「溶接規格 2024 年版改定案 (その 4) 推奨表記集に合わせた表記の改定」について、原専メール審議 No. 151 と意見回答の結果に関する説明がなされた。意見

	回答については承認いただいたため、原専三役の了解のもと、規格委書面投票 No.641 に移行し、賛成多数によって可決された報告がなされ、規格委における意見対応案の説明がなされた。 物理記号の添え字を斜体にするかどうかについて議論がなされ、JSME としてのルールは無いが、規格内では統一すべきとの意見がなされた。対象は「rD」であり、溶接分科会にて、他の対象箇所があるかどうかを確認することとなった。その確認が行われた後に、規格委意見回答対応案について 7 日間のメール審議を実施すること、及び、メール審議の可決を条件に、次回の規格委員会へ上程することについて、挙手による賛成多数によって可決された。投票 No.163。 山田幹事から、「なお、」書きの中には要求事項を記載すべきでないため、「ただし、」に変更すべきとの趣旨である説明がなされた。 藤田幹事から、資料 121-10-4 により、「溶接規格 2024 年版改定案（その 5）JIS アルミニウム溶接士及び JIS チタン溶接士と溶接規格の溶接技能資格者区分の比較表（置き換え表）の追加」について、原専書面投票 No.760 の結果の報告がなされた。本件は現在意見対応中であり、溶接規格への反映は、2026 年版に先送りする旨の意向が示された。 小口委員から、資料 121-10-5 により、「溶接規格 2024 年版改定案（その 6）肉盛溶接部の非破壊試験の質疑応答の反映」について、原専書面投票 No.761 の結果及び意見回答案について説明がなされた。クラス 1 機器以外に適用しなくても良いか、との指摘がなされたが、溶接分科会としてはクラス 1 のみとの意見を維持したいとの意向が示された。一方、将来用いる可能性を考慮すると、他のクラスに規定を追加すべき、との意見がなされた。本件は、2026 年版での反映とし、クラス 1 以外にも規定を追加することについて、溶接分科会に持ち帰って検討することとなった。 意見回答案については、挙手による賛成多数によって可決された。 藤田幹事から、資料 121-10-6 により、質疑応答「溶接方法ごとに溶接姿勢を変える場合の確認項目について（QNB2020-06）」について、原専メール審議 No. 153 投票と意見回答の結果報告がなされた。一部を修文のうえ、三役にご確認をいただき、HP 上でも回答済みである報告がなされた。 資料 121-10-9 により、「溶接規格 2026 年版改定案（その 1）JIS の適用年版の改定」について説明がなされた。本件は新規提案であり、30 日間の書面投票実施について、挙手による賛成多数にて可決された。投票 No.770。 資料 121-10-10 により、溶接規格 2024 年版及び事例規格集の公衆審査の開始について、次回の規格委員会にて申請する旨の報告がなされた。 資料 121-10-7 により、「溶接規格 2007 年版または 2012 年版の適用工事へ、2020 年版で取得した溶接資格を適用する場合について（質問 QNB2020-08）」の原専メール審議 No.155 の結果の報告がなされた。 本件は技術評価関係の質疑応答であるが、溶接分科会としては、JSME として回答すべきではないとの結論に至り、質問者（ATENA）との調整を実施し、質問を取り下げてくださいとの方針が示された。本方針については賛成され、質問者（ATENA）に連絡し確認するよう指示がなされた。 資料 121-10-8 により、質疑応答「発電用火力設備の技術基準の解釈について（QNB2020-07）」について、原専メール審議 No.156 の結果の報告がなされた。 野村委員より、「改定提案と同時に質疑応答を審議すべき」との意見があり、改定提案を行った後に質疑応答に回答する方針が示された。複数の委員から、改定提案を行った後に、事例規格を発行し、2020 年版を手当てすべきとの意見がなされた。佐藤(長)委員から、火技解釈は最新版を使うべきであり、溶接規格には年版を記載せず、常に最新版を使用するようにすべきとの意見がなされた。質疑応答については、「よい」との回答が難しいとの説明を質問者（ATENA）に行ったうえで、より詳細な議論は改定提案で行う必要があることを納得いただき、質疑応答を取り下げてくださいの方針について、挙手による賛成多数によって可決された。
(5)	高温規格分科会資料【資料 121-12】
	高温規格分科会鬼澤主査より、資料 121-12-1 を用いて、設計・建設規格 第Ⅱ編高速炉規格の「溶接管の溶接部に対する要求事項の見直し検討」（材料規格改定）の高速炉規格への反映」について説明がな

	され、15 日間の原子力専門委員会書面投票（No.767）の実施について承認された。 資料 121-12-2 を用いて、高速炉規格溶接規格の「2017 年版正誤表の発行の承認（その 1）」の発電用設備規格委員会書面投票意見回答と意見回答に伴う軽微な編集上の修正について説明がなされ、承認された。 資料 121-12-3 を用いて、高速炉規格溶接規格の「2017 年版正誤表の発行の承認（その 2）」について説明がなされ、15 日間の原子力専門委員会書面投票（No.768）の実施について承認された。
(6)	疲労評価分科会【資料 121-14】 板谷疲労評価分科会幹事から資料 121-14-1 により環境疲労評価手法 2022 年版の審議経緯と今後の進め方について説明があった。 朝田疲労評価分科会委員から環境疲労評価手法 2022 年版 公衆審査版からの軽微な修正（その 3）について説明があり、和文・英文とも、降伏応力を超える場合は補正は不要とする規定を式の下に移動することを条件に 15 日間のメール審議(No.160)入り及び原子力専門委員会での承認を条件とした規格委員会への提案が承認された。 釜谷疲労評価分科会委員から原子力専門委員会書面投票 No.736 に対する意見対応及び意見を反映した規格改定案の説明があり、No.1 環境疲労評価における Ke 係数を考慮したひずみ速度算出については 30 日間のメール審議(No.161)入り及び原子力専門委員会での承認を条件とした規格委員会への提案が承認された。No.2 環境の影響を受けないひずみ範囲（環境効果不感帯）を考慮した詳細評価手法については分科会内で新たな議論が起きていることから検討の時間をいただいた上で改めて提案することが了解された。
(7)	過酷事故対応規格【資料 121-19】 永田主査より資料 121-19-1 により、液体貯蔵タンク座屈解析手法ガイドライン（案）の本文・解説及び Appendix についての説明があった。構造評価手法高度化作業会、過酷事故対応分科会、原子力専門委員会及び発電用設備規格委員会のレビューでの主要な意見と対応案について紹介があり、意見対応案を反映したガイドライン（案）（Appendix-1, 2 含む）見直し版に対する原専の正式書面投票が提案され承認された。また、原専承認を条件に規格委に正式書面投票を提案することも承認された。 なお、ガイドライン（案）見直し版及び意見対応案は分科会、作業会で確認中なので、確認してから正式書面投票を開始すること、開始するのに当たりエディトリアルな全文チェックを行い不具合を修正したものを審議対象にすることが申し出られた。
(8)	竜巻影響評価分科会【資料 121-18】 寺田分科会幹事より竜巻ガイドライン改定案に係る規格委メール審議 No.89 意見対応について説明が為され、意見対応と編集上の修正について承認され、規格委に上程することが承認された。
(9)	配管耐震タスク【資料 121-17】 中村配管耐震タスク主査より資料 121-17 を用いてタスク活動状況および事例規格の整備状況についての説明と、書面投票依頼が 2 件あった。1 件目は数式参照番号の間違いに対する正誤表の発行についてであり、その後の審議では反対意見は無く、書面投票（No.763）に進むこととなった。2 件目は縦弾性係数の扱いについての改訂提案であり、疲労評価分科会及び設計・建設分科会のレビューにより意見を取得しているため、これらの意見に対応完了後、書面投票（No.764）に進むこととなった。
(10)	AM技術規格検討タスク【資料 121-21】 タスク中島主査より資料 121-21 を用いて、材料専門委員会への意見伺いに関する原専メール審議の実施の提案が為され、承認された。
9.	議事内容（原子力専門委員会運営に関する報告）

(1)	ASME Code Week (2024 年 8 月) 概要報告【資料 121-6-6-1】			
	高屋委員長より、2024 年 8 月 ASME 関係活動概要について報告された。			
(2)	ICONE31 Codes & Standards Workshop 概要報告【資料 121-6-7】			
	中島副委員長より、2024 年 8 月に開催された ICONE31 の中で Nuclear Codes & Standards セッションの概要について報告された。			
(3)	原子力関連学協会規格類協議会の状況【資料 121-6-8】			
	高屋委員長より、6 月開催の規格類協議会開催状況について報告された。			
(4)	電子配信・規格発刊状況【資料 121-6-9】			
	事務局より規格発刊準備状況について報告された。なお、設計・建設、材料、溶接の各 2020 年版規格冊子版について在庫状況の質問が寄せられたが、いずれも在庫は無く、また JSME 出版センターとしては増刷せずに PDF 版等の電子配信に誘導する方針である事が回答された。NRA 技術評価完了後、講習会等も開催を予定しており冊子版の購入希望が寄せられる見込みである事から、出版センターに増刷提案することも踏まえて事務局内にて相談する旨が回答された。			
(5)	ASME CC N-900 の状況【資料 121-6-6-2】			
	IHI 渋谷氏より、ASME による配管弾塑性評価事例規格改定作業の進捗状況について紹介された。			
10.	各分科会報告／その他【資料 121-25】			
11.	次回開催予定			
	第 9 0 回原子力専門委員会幹事会	2024 年 11 月 29 日	1330-1700	WEB 会議
	第 1 2 2 回原子力専門委員会	2024 年 12 月 6 日	1000-1700	Web 会議
	以 上			

第 121 回原子力専門委員会 配布資料一覧

【第 121 回 20240912】

121-0 : 第 121 回原専議事次第案 r1. doc

【01-05 : 事務局】

121-1-1 : 第 119 回原子力専門委員会議事録(案)r1. docx

121-1-2 : 第 120 回原子力専門委員会議事録(案)r1. docx

121-2 : 投票結果. pdf

121-3-1 : 質問受付対応. pdf

121-3-2 : 公衆審査結果. pdf

121-4 : 第 110 回発電用設備規格委員会議事録 (案) . pdf

121-5 : 原子力専門委員会／分科会委員承認. pdf

【06 : 原専委員会運営】

121-6-1_事例規格集内規_原専メール審議 No149 意見回答案 (原案策定内規改定提案を含む) . pdf

121-6-2_推奨表記集意見対応案. pdf

121-6-3-1_JSME 主要 3 規格の技術評価対応状況_第 6 報_規格類協議会幹事会提出版. pdf

121-6-3-2_NRA 指摘事項への対応状況. pdf

121-6-3-3_解説における要求事項記載への対応案. pdf

121-6-3-4_技術評価に関連した今後の対応案. pdf

121-6-4_原専本会議の時間割に沿った進行について (案) . pdf

121-6-5 再処理分科会の運営について r0. pdf

121-6-6_ASME Code Week (2024 年 8 月) 概要報告. pdf

121-6-7-1_BPV III Overview ICONE 31. pdf

121-6-7-2_BPV-III- ICONE D5. pdf

121-6-7-3_JSME Nuclear Codes Standards updates_2024_R0. pdf

121-6-7-4_JSME Code Activity Outline for Response to SA Condition_ICONE31 WS @ Prague_20240804_R1. pdf

121-6-7-5_AFCEN RCC-M Tubesheet Modeling WG - 2024. 07. 31. pdf

121-6-7_ICONE31 Nuclear CS Workshop 概要報告_202408. pdf

121-6-8_規格類協議会 議事録案. pdf

【07 : 設計・建設分科会】

121-07-0_#117 原専_設計・建設分科会 審議案件_R0 . pdf

121-07-1_DC24-01 他_設計・建設 2022 年版原稿チェック時他正誤表提案_r2_#120 原専. pdf

121-07-2-1-1_DC23-26_QNC2012-14 JIS 規格間継手の年度読替_原専メール審議#142 対応. pdf

121-07-2-1-2_DC23-26_QNC2012-14_JIS 規格管継手の年度読替について_#120 原専. pdf

121-07-2-1-3_DC23-26_QNC2005-177_JIS 規格管継手の年度読替について_#120 原専. pdf

121-07-2-2_QNC2007-01_DC24-05_鍛造品の扱いについて_質問回答案. pdf

121-07-3_2024Ed (その 2)-2026Ed 積み残し-規委書面投票対応_R0_#120 原専. pdf

121-07-4-1_DC24-24 溶接規格 2024(その 5) 影響評価 R0_#120 原専. pdf

121-07-4-2_DC24-25 溶接規格 2024(その 6) 影響評価 R0_#120 原専. pdf

【08 : 材料分科会】

121-8-0_第 121 回原専 材料分科会審議項目一覧. pdf

121-8-1-1_質疑応答_QNC2005-186 (24NM-007) R1. pdf

121-8-1-2_質疑応答_QNJ2012-35 (24NM-008) R1. pdf

121-8-2-1_規格委 LB No. 644 意見対応 (記載の適正化) . pdf

121-8-2-2_材料規格記載の適正化 (23NM-005) 成案. pdf

121-8-3-1_材料規格 2022 年版に対する改定提案 (その 4) (2023 年 JIS 改正対応) . pdf

121-8-3-2_別添_JIS 2023 年改正_変更評価検討票 r1. pdf

121-8-3-2_別添_JIS 2023 年改正_変更評価検討票. pdf

【09：維持規格分科会】

121-9-0 資料リスト.pdf
121-9-1_FSI-22-03_耐震クラス見直し.pdf
121-9-2 事例規格 P 環境中の SS の SCC CGR 頁.pdf
121-9-3_PWR の SCC 懸念部位の検査 (FSI-21-01).pdf
121-9-4_FSI-23-04 検査章解説の様式の見直し.pdf
121-9-5 JEA 破壊靱性検討会からの質疑応答 - フェライト鋼の FCGR に及ぼす照射の影響.pdf

【10：溶接分科会】

資料 No. 121-10-0：原専委員会_溶接分科会審議案件_r1.pdf
資料 No. 121-10-10：溶接規格 2024 年版(案)公衆審査計画(案).pdf
資料 No. 121-10-1：レーザビーム溶接における確認項目.pdf
資料 No. 121-10-2-1_デジタル RT 事例規格審議状況.pdf
資料 No. 121-10-2-2_事例規格デジタル RT(案)原専委員会メール審議結果及び意見回答.pdf
資料 No. 121-10-2-3_事例規格デジタル RT(案)規格委員会メール審議結果及び意見回答(案).pdf
資料 No. 121-10-2-4_事例規格デジタル RT(案)書面投票提案修正(案).pdf
資料 No. 121-10-3-1_推奨表記集に合わせた表記の改定(案)原専書面投票意見回答.pdf
資料 No. 121-10-3-2_推奨表記集に合わせた表記の改定(案)規格委員会書面投票意見回答(案).pdf
資料 No. 121-10-3-3_添付資料-1_溶接規格第 1-3 部_修正(案).pdf
資料 No. 121-10-3-4_添付資料-2_溶接規格第 4 部_修正(案).pdf
資料 No. 121-10-4：原子力専門委員会書面投票 No760_JIS アルミニウム溶接士及び JIS チタン溶接士.pdf
資料 No. 121-10-5_肉盛溶接部の非破壊試験の質疑応答の反映(案)原専書面投票意見回答結果及び意見回答(案).pdf
資料 No. 121-10-6：溶接方法ごとに溶接姿勢を変える場合の確認項目.pdf
資料 No. 121-10-7：溶接規格 2007 年版または 2012 年版の適用工事へ、2020 年版で取得した溶接資格を適用する場合.pdf
資料 No. 121-10-8：発電用火力設備の技術基準の解釈の適用年版.pdf
資料 No. 121-10-9：JIS の適用年版の改定.pdf

【12：高温規格分科会】

121-12 _高温規格分科会審議案件リスト.pdf
121-12-1_ETD24-003_「溶接管の溶接部に対する要求事項の見直し検討」(材料規格改定)の高速炉規格への反映.pdf
121-12-2_規格委書面投票 No. 638 ご意見への回答.pdf
121-12-3_ETDW24-002_高速炉溶接規格 2017 年版の正誤表の発行(その 2).pdf

【14：疲労評価分科会】

121-14-0 管理リスト(疲労評価分科会)_20240912_第 121 回原専.pdf
121-14-1 環境疲労評価手法 審議経緯と今後の進め方_20240912.pdf
121-14-2-1_FE-24-04_環境疲労評価手法 2022_公衆審査版からの修正 その 3_#121 原専.pdf
121-14-2-2_公衆審査版からの修正リスト_合本_環境疲労評価手法 2022 年版_#121 原専.pdf
121-14-2-参考 1_FE-22-01 環境疲労評価手法 2022 年版 公衆審査版からの修正提案.pdf
121-14-2-参考 2_規委 106-21-2-1 改 1_環境疲労評価手法 2022_発行原稿チェック結果 修正提案.pdf
121-14-3-1 【コメント回答】Ke 係数を考慮したひずみ速度算出.pdf
121-14-3-2 【規格委員会提案】Ke 係数を考慮したひずみ速度算出.pdf
121-14-4 【コメント回答】環境効果不感帯.pdf

【17：耐震タスク】

資料 121-17 2024_0912 原専委 耐震タスク 進捗報告等.pdf
資料 121-17 添付 1 2022 年版 正誤表発行 原専委審議依頼文書(合本).pdf
資料 121-17 添付 2 SEGP24-001_事例規格における縦弾性係数の扱いについて.pdf

【18：竜巻影響評価分科会】

121-18-0_竜巻分科会審議案件_R1. pdf

121-18-1-添付 1. pdf

121-18-1-添付 2. pdf

121-18-1-添付 3. pdf

121-18-1_竜巻ガイドライン改定案修正案の承認_意見回答_R1. pdf

【19：過酷事故対応分科会】

121-19-01_液体貯蔵タンク座屈解析手法ガイドライン案に対する正式書面投票提案. pdf

添付資料-1-1_作業会コメント回答案_20240822-1. pdf

添付資料-1-2_分科会コメント回答案_20240822-1. pdf

添付資料-1-3_原専書面投票 No762 コメント回答案_20240823-1. pdf

添付資料-1-4_規格委書面投票 No645 コメント回答案_20240909-1. pdf

添付資料-2-1_見直し版に対する作業会コメント回答案_20240909-1. pdf

添付資料-3-1_対応案概要説明資料_20240911-1. pdf

添付資料-4-1_座屈評価ガイドライン案原稿_R2_20240909-1_全見え消し版. pdf

添付資料-4-2_Appendix-1_R4_20240910-1_全見え消し版. pdf

添付資料-4-3_Appendix-2_R3_20240823_見え消し. pdf

【21：AM 技術検討タスク】

資料 121-21-1_AM 技術規格案の材料関連の論点に関する材専への意見伺いについて原専のご承認願ひ. pdf

資料 121-21-1 添付資料-1_AM 技術規格案の材料関連の論点に関する材専への意見伺いレター. pdf

資料 121-21-1 添付資料-2_AM 技術規格案の材料専門委員会への意見伺い_20240913_r3. pdf